総研大　海外学生派遣事業　実績報告書

1. 基本事項

所属: 複合科学研究科 極域科学専攻

氏名: 橋詰 二三雄

海外派遣先国名: ニュージーランド

海外派遣先大学名: カンタベリー大学

海外派遣先大学所属: Active tectonics and Geomorphology

海外派遣期間: 7 月 2 日 ~8 月 1 日

2. 海外派遣先大学について

カンタベリー大学は、ニュージーランド南島クライストチャーチ市アイラム地区に位置し、オタゴ大学に続くニュージーランドで2番目に古い高等教育機関である。この大学は、極域科学とも縁があり、国際南極大学協力校として南極学プログラムを担当している。また、物理学者ノーベル化学賞受賞者であるアーネスト・ラザフォードの出身校である。

3. 海外派遣前の準備

宿泊ホテルの予約はオンライン上で行い、飛行機チケット取得や海外保険加入は旅行代理店を利用した。また、海外派遣先の受入教官の一人は、国立極地研究所の所員であり、我々の研究グループの関係者であったため、連絡や準備はスムーズに行うことができた。1ヶ月の短期滞在だったので、ビザは必要なかった。

4. 海外派遣中の研究

以下項目、海外派遣先で行った研究内容である。

① 岩石試料及び石英抽出後分析試料の管理方法の確認

② 石英抽出法においての設備確認

③ 実際に石英抽出をおこない、実験器具や操作方法について学んだ

④ 宇宙線生成核種の定量前処理について学んだ

⑤ 国内での設備の検討を行った

以上の項目により、宇宙線生成核種定量をおこなうための石英抽出方法に関わる研究を学び、研究テーマに基づいた研究内容を進めた。

5. 海外派遣中に行った研究以外の活動

休日はクライストチャーチ市内での観光、南極博物館、トレッキング、ラグビー観戦などに赴き楽しんだ。また、大学の図書館にて日本に関する文献を読み、ニュージーランド視点から見た日本について学んだ。

6. 海外派遣費用について

すべて海外派遣費用で賄うことができた。

航空機のチケット	約 20 万円
宿泊費	約 10 万円
食費	約 5 万円

7. 海外派遣先での語学状況

ニュージーランドの公用語は英語であるが、オーストラリア系の訛りとイギリス英語であることから、滞在当初少しの戸惑いが生じた。研究に関する話は相手が日本人であったため、日本語を用い、スムーズに進めることができた。

8. 海外派遣先で困ったこと

クレジットカードでのキャッシング機能が使用不可であったこと、ホテルの支払いを行ったこともあり、カード使用限度残額が残り少なかったこと、などが挙げられる。

これら事項は、学生という身分を利用してクレジットカードを作成している場合、注意が必要である。渡航前に自分が持っているクレジットカードの仕様確認を行うこと、可能であれば２枚以上のクレジットカードを所持することが改善策である。

9. 海外派遣を希望する後輩へアドバイス

海外派遣を推進するこのプログラムを利用できた私はとても恵まれた環境にいることを実感しました。１ヶ月という短い期間でしたが、研究だけでなく、その国の文化や社会、歴史も同時に学ぶことができ、非常に良い体験ができたと思います。しかしながら、その国の常識など、勉強不足が目立つ部分も多々ありました。渡航前にその国の風習、文化、社会情勢などをくまなく調べておくことをお勧めします。それにより、さらに、その国を知ることができ、充実した研究生活が送れると思います。